天草郡市中体研

理事長　平田　徳保

１　はじめに

天草郡市中体研は、２１校・２７名の保健体育担当教師で構成され、小・中学校体育授業研究大会や小・中学校体育実技研修会を柱に小体研と連携した活動を進めてきた。天草教育研究所体育部門と郡市中体研の活動を平行しながら研究活動を推進している。

２　研究テーマ

研究主題
「自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む保健体育授業の在り方を目指して」
～できる、かかわる、伸びる楽しさを味わえる保健体育の授業づくりを通して～

３　研究組織

＜天草教育研究所＞

○体育部門会長　（川﨑　卓中体研会長：阿村中）

○体育部門副会長（平田　直小体研会長：佐伊津小）

○体育部門研究委員

・中体研理事（平田徳保：新和中）・中体研副理事（金子　大：稜南中）

＜天草郡市中体研研究組織＞◎･･･チーフ

会　　長　川﨑　卓（阿村中）

副 会 長　田中新作（大矢野中）道上武利（河浦中）

○授業研究部（授業研究会・体育実技講習会など）

◎平田徳保（新和中）、波多孝樹（栖本中）、松尾真一（本渡東中）

○評価研究部（評価規準・小中合同実技研修会など）

◎金子　大（稜南中）、矢住征規（苓北中）、石田　章（牛深中）

４　活動状況

５／　１　第１回県評議員会及び第１回県理事長会

５／　７　第１回郡市評議員会及び第１回中体研総務理事会

６／　１　第２回郡市中体研総務理事会

７／３０　県中体研夏期研修会及び実技講習会への参加（８名参加）

８／２６　第４回郡市中体研総務理事会（県中体研夏期研究会、実技講習会報道）

１１／１３　第２回天草郡市小中合同体育研究会（大会日程等の検討）

１１／１９・２０　熊本県学校体育研究発表大会（９名参加）

１２／１７　中学校指導案検討（～１／１４　小中合同で検討会を５回実施）

１／２２　平成２７年度 天草教育研究所「体育部門」授業研究会

授業者　本渡東中学校　松尾真一　教諭　球技：ゴール型　サッカー

２／１２　第２回天草郡市評議員会（年間反省及び次年度への展望）

5　研究の概要

本研究会の研究主題を具現化するために、指導案を作成する前に「授業に関するアンケート、運動有能感調査、レディネステスト」を実施し立案に活かした。特に、サブテーマである「できる、かかわる、伸びる楽しさを味わえる保健体育の授業づくり」を数値化して検証するために、運動有能感調査を授業の事前・事後で行っている。本年度の主な活動として行った天草教育研究所体育部門授業研究会は、中学校の保健体育担当者だけでなく、会員となっている小学校教師も合同で研修をする場となった。研究授業の前には指導検討会を複数回行い、中学校の研究員だけでなく小学校の研究員にも参加を呼びかけ、授業作りのアドバイスやヒントを沢山出し合うことができた。小学校ならではの発想や運動未経験者を指導する体験談には学ぶことが多く、大変有意義な検討会となった。また、運動有能感調査の結果を受け、集団の平均値が低い項目や個人の数値が低い部分を洗い出し、具体的な手立てを考えていった。授業研究会の当日は、事前に練られた計画のためか、指導者のねらいに応じた生徒の活動が随所に見られてよい提案授業となった。ドリルサーキットやタスクゲームと主運動がリンクし、本時の目標を達成するための授業展開が工夫されていた。また、単元１時間ごとに目標や活動計画も作成されており、前後の授業とのつながりが分かりやすく表にまとめられていた。これまでの研究の流れを大切にし、さらに小中連携を進めて発展させていきたい。

○　その他の研究活動

（１）指導案検討会の実施

（２）平成２６年度「熊本県中体研指導案集、体育関連資料」DVD 配付

（３）小体研との連携強化

（４）熊本県版資料掲載「保健体育実技の本」「保健体育ﾉｰﾄ」の購入と活用を推進

（５）中体研実技講習会データ配付

（６）天草保健体育サークルの推進

・事務局：平田徳保（新和中）※メールで連絡

・毎月２回（基本：第１・３水曜日）夏時間 20:00～冬時間 19:30～　稜南中にて

・内容（中体研活動、保健体育授業全般、指導案検討、体育的行事、部活動など）

6　まとめ

本研究会では、平成３０年度の熊本県中学校保健体育研究発表大会天草大会の開催に向け準備を進めている。実りある発表会となるように、生徒の実態を把握するためのアンケート調査の実施や多くの研究会への参加をとおして、研究の母体となるテーマについて模索している。また、天草という地域の特色を盛り込んだ内容にするためにはどの様なことに目を向ければよいかなど、多岐に渡って議論を続けている。来年度にはテーマを決定し、発表に向けて研究を積み重ねて行きたいと考えている。これからも「天草は一つ」を合言葉に、保健体育担当者の授業に対する熱意を結集して、研究テーマを具現化できる授業づくりに取り組んでいきたいと思う。